



祝・旗揚げ三十周年
2020年サントリー地域文化賞受賞
2023年新潟日報文化賞受賞

人形浄瑠璃 猿八座公演

げんじえぼしおり

「源氏烏帽子折」

—竹馬、卒塔婆引き、伏見の里—

平清盛の手を逃れ 三人の幼子を連れて

吉野へ下る常盤御前の運命やいかに

近松門左衛門初期の名作をお楽しみ下さい

浄瑠璃 渡部 八太夫 (三味線弾語り)

舞台監督 高橋 八重

人形 石井紫猿 和泉猿丸 稲村猿久

遠藤 俊八 篠田 八助

永野 八尋 西橋 八郎兵衛 長谷川真八

逸見 八里 堀 八島

解説 川村 知行



日 時 | 6月29日(日) 午前の部 10:00 開演 (開場 9:30 終演予定 12:00)
午後の部 13:30 開演 (開場 13:00 終演予定 15:30)

会場 | ドナルド・キーン・センター柏崎 3階 多目的ホール

定員 | 50名 (要予約)

鑑賞料 | 1,000円 (全額を猿八座にお渡しします。)
※入館料が別途必要です。

問合せ(予約先) | 0257-28-5755 (ドナルド・キーン・センター柏崎)

主催 | 公益財団法人ブルボン吉田記念財団

「源氏烏帽子折」作品解説

源義経にまつわる伝説を下敷きに、能や幸若舞(室町時代に流行した芸能)の『烏帽子折』等を脚色して書かれた近松門左衛門元禄三年(一六九〇)の作品。大坂の竹本座(座本・竹本義太夫)で初演。現在、義太夫節で語られることは稀ですが、古浄瑠璃・文弥節を継承する四地方(佐渡、石川県、宮崎県、鹿児島県)では重要な演目として、今でも度々上演されています。

文弥節も含めた「古浄瑠璃」とは義太夫節以前の浄瑠璃の総称ですが、近松初期の作品には古浄瑠璃の太夫の為に書かれた作品も多数あり(『源氏烏帽子折』は山本角太夫(土佐掾)の為に書かれたという説もある)初期の義太夫節には文弥節の曲節が多用されていたと考えられます。

今回は全五段のうち初段の「竹馬」と「卒塔婆引き」二段目の「伏見の里」の三幕を上演します。

登場人物

竹馬の場

常盤御前・今若・乙若・牛若(義経)

長田庄司忠致・長田太郎忠澄・雑兵大ぜい

卒塔婆引きの場

藤九郎盛長・金丸・常盤御前・牛若

長田太郎・瀬尾七郎・雑色大ぜい

伏見の里の場

常盤・今若・乙若・牛若

白妙・弥平兵衛平宗清・藤九郎盛長

あらすじ

初段 平治の乱で源義朝を破った平清盛は、平治二年の正月、後白河院に目通り、祝いを述べる。院はかつての臣下であった義朝を惜しみ、清盛に手厚く弔うよう、また平家に寝返り、主君義朝と娘婿の首を取った長田の庄司、太郎親子には罪滅ぼしに、義朝の子供たちを大切に育てるよう命じる。

【竹馬の場】義朝の妻、常盤御前は三人の子ども、今若(後の頼朝)乙若(範頼)牛若(義経)とともに、下の醍醐にひっそり暮らしている。九歳の今若は竹馬に跨って庭を駆け廻り、六歳の乙若は赤絹を平家の赤旗に見立てて矢で射落し、三歳の牛若は赤絹を喰い裂いて平家を討ち取ったと勝鬨を上げる。今若、乙若が手習いに出かけると、長田親子が帝の命に背いて常盤と牛若を捕縛して行く。長田庄司は源氏方であり、義朝の忠臣鎌田正清の舅でもあったが、恩賞目当てに主君と婿を討って、平家方に寝返ったのである。

【卒塔婆引きの場】代々源氏に仕える藤九郎盛長は流浪していたが義朝の墓参に来て、幼馴染で義朝に仕えていた金丸丸に出会う。盛長は墓前で主君が討たれたのは金丸丸の所為だと嘆き、金丸は盛長が長く浪人して心根が腐っていると互いに罵り、喧嘩となるが、大力の二人は八寸角の卒塔婆を引き合い捻じ切って我に返り、和解する。そこへ平家方の一行が捕縛した常盤母子を処刑するためにやって来るが二人は長田太郎の首を刎ね、母子を救う。常盤に大和へ逃げるようすすめ、二人は源氏再興を約束して、兵を集める旅に出る。



卒塔婆引きの場



竹馬の場

二段目 清盛は長男重盛の諫めを聞かず、弥平兵衛宗清に常盤親子の捕縛を命じる。永暦元年正月末、常盤は三人の子を連れて京を発ち大和へ向かう。

【伏見の里の場】雪の伏見に行き暮れ、宿を乞うた家の女房は藤九郎盛長の妹白妙であった。主人は平家方の侍弥平兵衛宗清、白妙は宗清に見つかる前に立ち去るようすすめるが、母子は進退窮まり、軒端に野宿する。宗清はこれに気が付くが、何事も聞かぬが花と、空矢を放って母子を逐いやる。常盤親子を案じてあとを付けてきた藤九郎盛長は、事の次第を見届けて宗清に礼を述べ、源氏再興の兵を集めに東国へ下って行く。



伏見の里の場

猿八座は佐渡に伝わる文弥人形を基本に、数ある説経、古浄瑠璃の中から現代向きの作品を選び出し、復活上演に取り組んでいます。新発田市真中(旧紫雲寺町)に稽古場があり、随時座員を募集していますので、興味ある方はご連絡下さい。

電話 080-2012-9115 (西橋)